

2014年8月号

ほくし

発行所

一般社団法人 大阪北区歯科医師会

大阪市北区南森町1丁目4番28号
プールパール南森町205号室

TEL(06)6363-0016 FAX(06)6363-0046

二〇一四年度
第一回総会

H26.6.30

HP



六月三〇日(月)午後七時三〇分より北区民センターに於いて一般社団法人大阪北区歯科医師会二〇一四年度第一回総会が開催された。

高麗誠紀会長が仮議長を務め開会宣言を行った。次に点呼が行われ、現在の会員数一八七名、定款一八条による総会定足数九四名、

- 立ち、「当総会是一般社団法人として第一回の総会となります。法人移行では先生方の深いご理解とご協力を頂戴し、公益目的支出計画期間を可能な限り短縮してスタートを切ることが出来ました。今後も更にその期間が短くなるよう日々努力する所存です。先生方のご指導、ご協力をお願い致します」と述べた。
- 報告事項
- ① 一般社団法人移行の経緯報告
四月一日移行登記をし一般社団法人になった事・会長(代表理事)は、定款の附則により選任された事
 - ・他の理事は、法律の規定により、従来の理事がそのまま留任し、任期は来年の定時総会までである事
 - ② 平成二五年度社団法人大阪北区歯科医師会会務報告が佐々木裕専務理事よりなされた。
 - ③ 代議員会報告が天羽隆代議員よりなされた。
 - ④ 新入会員(一班大月基弘先生、六班玉置彩先生、八班吉見二朗先生の紹介が行われ、本日出席された大月先生・吉見先生より挨拶が行われた。
 - ⑤ 班再編成の説明があり班



長の紹介が行われた。

議事に移り、平成二五年度社団法人大阪北区歯科医師会収支決算報告(収支決算報告・貸借対照表・正味財産増減計算書)が三輪佳子常務理事、佐々木専務理事より説明され、大浦寿哉監事による監査報告の後、満場一致で可決承認された。

最後に木下秀人副会長による閉会宣言により閉会となった。

総会終了後、大阪府歯科医師会保組合北区支部総会が開かれ、阪本光伸支部長より会務報告・会計報告が行われた後、大阪府歯科医師連盟北区支部総会が開かれ、戎文彦支部長より会務報告・会計報告が行われた。

パノラマ

安倍内閣は集団的自衛権行使を認めるために憲法解釈を変更する閣議決定を行った。日本が武力を使う条件となる「新三要件」を満たせば個別的、集団的自衛権と集団安全保障の三種の武力行使が憲法上可能としたものだ。その是非については様々な意見があり、今後議論がなされると思われる。メディアによる世論調査の一つで目にしたのが「賛成」でも「反対」でもなく「わからない」であった。不勉強ながらまさにその通りと同意してしまった。また、その他政府が推し進める改革で我々に最も関係すると思われる「患者申出療養」についても、従来の保険外併用療養制度の範疇に入る内容であるのにも関わらず一般的に混合診療の解禁、もしくは大幅な拡大と報道されているように思う。そして具体的な内容については、「わからない」人が多いのではないだろうか？政府には国民にわかりやすく説明する責任があると思われるが、特にこの問題については歯科業界に携わる者として自分自身でも「わからない」で済まらず、ちゃんと知る努力をしないとけないと思う。(K)

学術部主催 「3Mダイレクトクラウン」 ハンズオンセミナー

H26.7.3

☒ HP


七月三日(木) 大阪東急イン二階において、学術部主催の「3Mダイレクトクラウンハンズオンセミナー」が開催された。今回は、実習コースという初の試みであり、話題性の高い製品ということもあって、定員二十五名は、募集翌日には満員御礼となった。

【製品紹介】

ダイレクトクラウンとは、3M ESPE社が提供する、直接法対応のハイブリッドクラウンであり、即日修復が可能にした画期的な製品である。本製品開発の背景は、保険治療と自費治療の間を埋める製品を提供するというところにある。つまり、現

在の保険治療では、臼歯部歯冠補綴は基本的に金属冠となるため、審美性に大きな問題を残している。また、セラミック等の白い修復物は基本的に保険適用外であり、高額な治療費が問題となる。本製品は、自費治療ではあるが、製品価格が安く(一歯あたり三千五百円)、CAD/CAMのような設備投資の必要がなく、術者が即日に完成できるため、短時間で白く美しい歯を比較的安価で患者に提供できることが大きな特徴である。また、ナノファイラーを配合することで大幅に物性(強度や研磨性)を向上させたうえ、SMCテクノロジー(未硬化なのにクラウン形状を維持できる性質)を応用しており、直接法で用いても、優れた賦形性を有している。なお、本製品は本年四月にCAD/CAM冠が保険制度に導入される以前にリリースされていることを追記しておく。



【ハンズオン】

ハンズオンでは、直接法および直接間接法の二種類を行った。直接法は文字通り、患者の口腔内で直接作業するものであるが、直接間接法とは、支台歯形成終了後、通法に従い印象採得を行ったのち、クイックダイ(モリムラ社)で作業用模型を製作し、その上で作業するものである。クイックダイは、一見すると石膏模型のように思えるが、約二分で硬化するシリコーン系材料であり、チェアサイドで即座に修復物を製作する本製品には、最適な材料であるといえる。ちなみに通常の間接法に用いられる石膏は、製品との相性から推奨されないので注意が必要である。

【臨床上の注意点】

臨床上のヒントとして、アンダーカットの処理方法、コ

ンタクトポイントの調整方法、マージンの調整方法、支台歯形成法などの紹介が行われたが、本製品は、完成度が術者の技量に大きく依存するものと考えられる。隣接面部のトリミングおよびリマージングは、特に重要なポイントになると思われる。なお本製品は、専用のオーダーシートを用いて発注するのであるが、セミナーおよびハンズオン受講者のみが購入可能となっている。



【質疑応答】

① シェードについては、A2およびA3のみの販売である。
② 前歯やインレーについては、販売の予定なし。
③ 補綴物内面の空間については、セメントで埋めてしまうという考え方。
④ 強度については、従来のハイブリッドレジンと同等と考えて良いので、特別に強



度が強いというわけではない。症例の選択は必要である。
⑤ スティーンは可能であるが、コストパフォーマンスからいうと、できるだけシンプルな工程が最大限のメリットであると考えべきである。
⑥ 常温保存が可能であるが、個包装に明記されている約二年の使用期間を守ること。

【まとめ】

今回、高麗会長発案でのハンズオンセミナーを開催したが、参加された会員の先生方からの満足度は高く、明日からの臨床で取り入れてみたいという声も多く聞かれた。手技の習熟度により、完成したクラウンに相異なる差ができる可能性は否定できないが、材料特性を理解したうえで、研鑽を重ねることで、患者・術者ともに得られる恩恵は大きい製品であると思われる。
(学術部・奥野幾久記)

大阪市北部隣接 七地区代表者懇談会

H26.7.19

HP

七月一九日(土)、ホテル阪急インターナショナルにおいて、大阪市北部隣接七地区代表者懇談会が、大淀地区の主管で開催された。七地区の会長、代表者約二〇名が集まり、秋に開催予定の「府歯・大阪市北部隣接七地区役員懇談会」の協議について、また、七地区の現在抱えている諸問題について、質問や意見の交換が行われた。



府歯との協議について、①新たな財政支援制度九〇四億円に基づく事業について、②院内感染予防に対する取り組みについて、③歯科医師国保の財政を含む今後の見通しについて、④来年に予定されている統一地方選挙に対する歯科医師連盟の取り組みについて、などの中から、四議題程度



を上げること調整することとなった。

各地区が抱える問題については、一般社団法人への移行関連、新規開業者の動向と未入会者対策、補助金カットに伴う法人の財政難などについて、活発に協議された。

会議に続いて懇親会が催されたが、主に協議に関する話題で各地区の事情を踏まえての更なる意見交換が行われた。今回で二四回を迎える懇談会であるが、出席者の顔ぶれも相当に若返った印象である。高麗会長が、年長から二番目とは意外であった。新しい地区代表も、いろいろと苦労がある様子であり、お互いに、アドバイスを与え合う光景が多く見られた。常に歯科医師会も新しくなっていく上で、たいへん貴重で有意義な懇談会であると感じた。

(専務理事 佐々木裕記)

よい歯のコンクール

H26.5.8

HP



五月八日(木)午後一時三〇分より北区保健福祉センターにて「第六三回大阪よい歯のコンクール」北区審査会が行われました。今回は昨年度の三歳児健診を受けられた七〇〇名の中から親子で健康的な口腔

内が保たれていると健診時に判断された五組の親子に会場いただきました。

当日は硬組織・歯肉・咬合・清掃状態などの厳正な審査の上、最優良一組、優良二組の親子を選出しました。

その後、表彰式へと移り、澤田好伴保健センター医務主幹による表彰状授与、最後に高麗会長の総評にて幕を閉じました。

なお、最優良の親子には北区代表として、全大阪よい歯のコンクール中央審査会にご参加いただくことになりました。

(担当理事・樋口春彦記)

医療保険講習会

H26.5.16

HP

五月二六日(金)午後七時三〇分より大阪東急インにて、五七名の参加者で医療保険講習会が行われました。

今回は医療保険改定直後の医療保険講習会でもありましたので、大阪府歯科医師会から医療保険担当常務理事でいらつしやる林正純先生をお迎えして講習をお願いしました。講習会は高麗会長の挨拶で始まりまし

た。林先生の講習は、明快

でしかも熱が入っており、今回の改定部分も非常に理解しやすく解説していただきました。事前質問についても、その講演の中に上手く取り入れて解説していただき、全くスムーズで、理解度の高い講習会となりました。

最後に木下副会長からお礼の挨拶があり、講習会は盛況のうちに終了しました。(担当理事・岡田修二記)

班再編成表

【1班(旧1班)】	班長・吉川貴志	【6班(旧9班)】	班長・中川浩一
【2班(旧2・3班)】	班長・川里邦夫	【7班(旧10・11班)】	班長・山田雅也
【3班(旧4・7班)】	班長・吉崎恵忠	【8班(旧12班)】	班長・佐藤修一郎
【4班(旧5班)】	班長・市来正博	【9班(旧13・14班)】	班長・横田武史
【5班(旧6・8班)】	班長・西田昌弘	【10班(旧15班)】	班長・今中俊三
		【11班(旧16班)】	班長・洪里周作



黒川森夫先生より 木版画の寄贈



本格的に木版画に取り組んで四〇年、とあることが発端で昨年からの二〇号の大作に挑戦している。

第一作は山形県東根の大ケヤキをテーマにした「大樹」は昨年、大阪府歯科医師会に寄贈、第二作の大阪城の桜を描いた「桜花爛漫」は地元北区歯科医師会に寄贈した。

特に第二作は新法人移行後も会の益々の発展を期待しての寄贈としたい。

(七班・黒川森夫)



「桜花爛漫」

みおつくしの会

H26.5.24

HP



五月二十四日(土)午後一時よりホテル阪急インターナショナル二五階の「竹茂楼」にてみおつくしの会が開催されました。今年から

新たに長谷川泰彦先生、高垣健太郎先生と東郷達夫先生がみおつくしの会に加わり、計九名の先生方にお集まりいただきました。



高麗会長の挨拶に続き、大塚禮三先生の乾杯の音頭でみおつくしの会が始まりました。佐々木専務理事による会務報告後、毎年恒例のご参加された先生方の近況報告をしていただきました。多くの貴重でためになるお話をいただき、もてなす側の我々としても非常に有意義な会となりました。野口副会長による閉会の挨拶で、みおつくしの会は終了しました。ご出席の先生方、本当にありがとうございます。来年もお元気で出席して戴くことをお待ちいたしております。

なお、今年九月で八〇歳を迎えられる人見楠熊先生には、長寿のお祝いとして記念品を贈呈させていただきました。心よりお喜び申し上げます。

(参加者 敬称略)

大塚禮三、猪木一成、坂口喜史夫、西川亨、加納晴彦、黒川森夫、長谷川泰彦、高垣健太郎、東郷達夫

(執行部出務者) 高麗会長、野口副会長、木下副会長、佐々木専務理事、土岐理事

退職の御挨拶 事務職・石田純子

私、このたび六月三〇日をもつて、大阪北区歯科医師会事務職を退職いたしました。在職中は大変お世話になり、心から御礼申し上げます。

昭和五八年に当時の戎会長から後任が見つかるまでの間手伝ってくれないかと頼まれたところ、戎会長が急逝され、後を引き継がれた井上会長、黒川会長、高麗会長といつの間にか、三〇余年の月日が過ぎました。その間、大過なく勤めることが出来ましたのも先生方のお力添えによるものと深く感謝申し上げます。

クリスマスパーティー、新年互礼会、ボウリング大会等楽しい行事を思い出します。人生の一番いい時期を楽しく過ごさせて頂き感慨無量でございます。後任の実川麻里さんは、よく気の付くいつも笑顔のかわいい方で、仕事も手際良く、これから事務所の顔になりますので、どうぞ事務所にもお立ち寄りください。

最後になりましたが、先生方のご健勝、ご多幸と貴会の益々のご発展を心よりお祈り致しまして御礼のことばとさせていただきます。